2026 年 10 月 29 日

お知らせ

ジェットスター・ジャパン株式会社

ジェットスター・ジャパン
全面白塗装の新造機エアバス A321LR型機が成田空港に到着

～客室仕様をアップグレードしお客様の利便性をさらに向上～

ジェットスター・ジャパン株式会社（本社：千葉県成田市、代表取締役社長：田中正和）が新たに導入予定のエアバス A321LR型機（機体記号：JA29LR）が、ドイツ・ハンブルク空港から他空港を経由して、本日29日14時43分に成田国際空港に到着しました。



10月29日14時35分、成田国際空港のB滑走路（34R）に着陸したJA29LR

JA29LRは、2027年7月に予定している新ブランドへの移行※準備の一環として、機体全体を白塗装にした新造機、ホワイト塗装機（以下「ホワイト機」）です。新ブランドへの移行プロセスを象徴する機体の一つで、ブランド移行期にのみ運航する特別仕様となります。

当該機は、新たに導入を予定しているエアバス A321LR型機2機のうちの1機で、ジェットスター・ジャパンとして保有する同型機としては4機目となります。今回到着したホワイト機（JA29LR）は、11月上旬から運航を開始し、当面の間、全面白塗装の状態で、国内線および国際線の高需要路線に導入される予定です。新ブランド決定後に、順次新デザインに塗装を変更してまいります。

また、このホワイト機（JA29LR）は、当社が現在保有する同型機から一部仕様を変更しています。座席数は238席から232席に、また後部ギャレーをハーフギャレーからフルギャレーに変更しました。さらに、頭上のロッカーを現行サイズから収容容積を40%大型化し搭載できる手荷物の個数を60%増やしたほか、現在設置済みのUSBポート Type Aに加え新たにType Cも追加しました。

ジェットスター・ジャパンは、先般導入したトランジション塗装機（JA18JJ）に続き、今回のホワイト機（JA29LR）を通じて、新ブランドへの移行プロジェクトを着実に推進しながら、安全・安心かつ低運賃での気軽な空の旅をより多くのお客さまに提供してまりいります。

※関係当局の認可を前提としています。

【ジェットスター・ジャパンについて】
「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012年7月より日本国内線、2015年2月からは国際線の運航を開始しました。現在、国内15都市・海外5都市に就航し、国内線18路線・国際線7路線を運航中。就航から累計6,300万人以上のお客さまにご利用いただいています。ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。https://www.jetstar.com/jp/ja/home